

湖西市議会議員

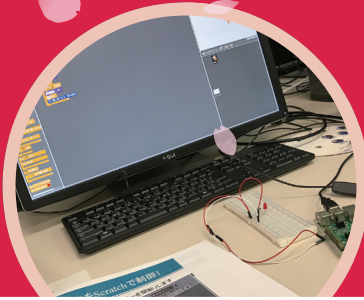
ひろゆき

くすのき浩幸



活動レポート

vol.29



プログラミング教室



卒業証書授与式



夜間防災訓練



湖西市議会3月定例会



湖西市少年少女発明クラブ



岡崎元気クラブ(学童保育)



浜松エリア集客セミナー



新居関所「旅籠まつり」



ユタカクラブ議員協議会研修会

政
策

働く者の代表として 湖西で働いて良かった
住んで良かったと思える「魅力あるまちづくり」を目指します。

安全で住み易く
働き易いまちづくり

安心して子供を産んで働ける環境づくり
安心して働ける環境づくり
安心してくらするまちづくり

行財政改革による
健全なまちづくり

持続可能な財政の確保
稼げるしくみづくり

協働のまちづくり

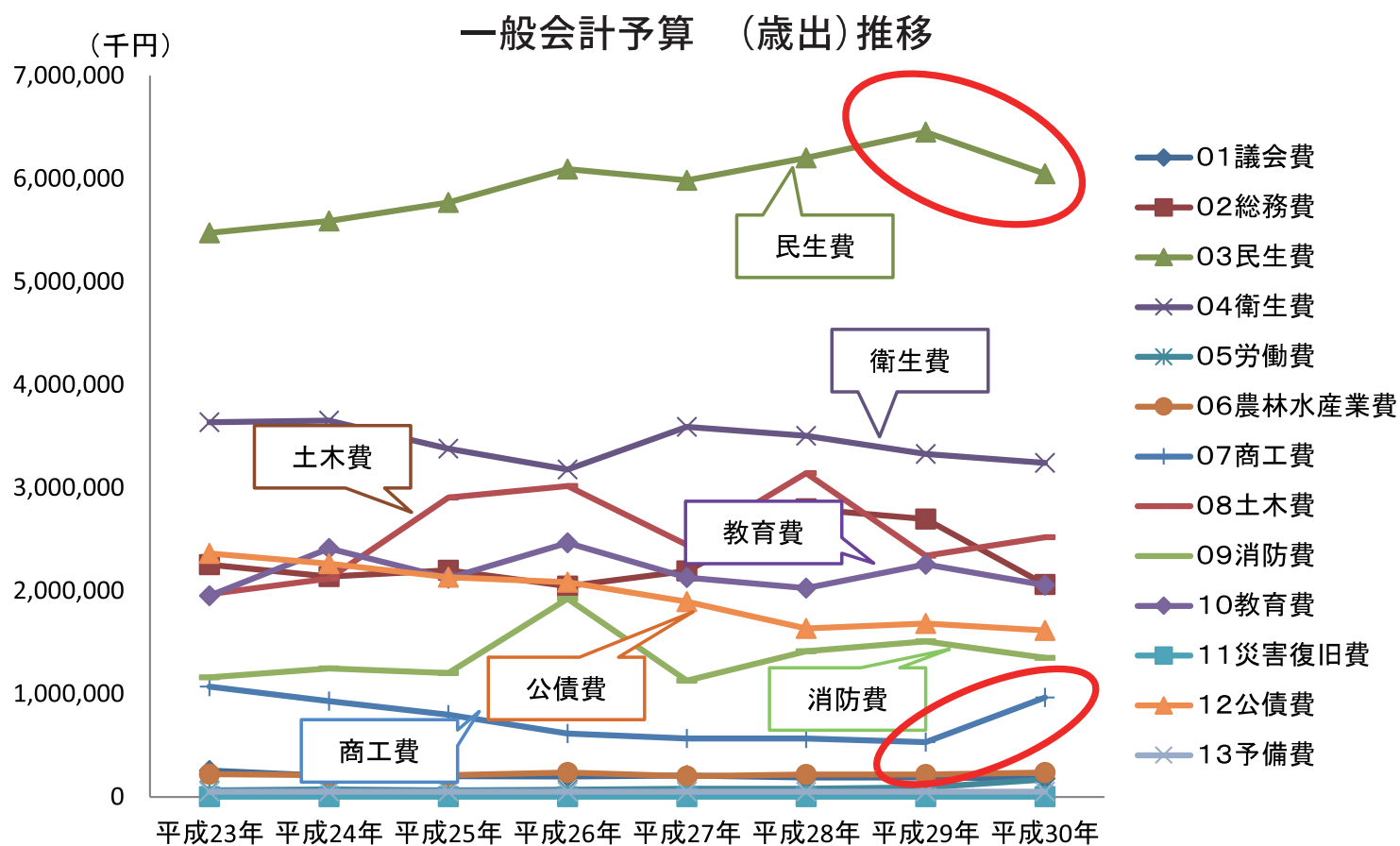
市民協働のしくみづくり

はじめに(ご挨拶)

平成30年3月定例会は新年度予算審議を中心に64議案を審議しました。新年度予算におきましては、国民健康保険や湖西病院を含む総予算391億6千万円。一般会計は205億円と昨年と比較して約8億5千万円の減額です。地方交付税が2億4千万円減額され、財政調整基金(預金)を9億3千万円切り崩す厳しい財政状況の中で、市立湖西病院へ一般会計からの繰出し金は11億1千500万円と全体の5.4%を占めています。昨年12月に就任した病院管理者の手腕に期待するところです。

また、市内の公共施設を多くの市民が利用できるよう条例の改正を行い、受益者負担を念頭においた使用料金の見直しを行い、300万円の増収を見込んでいます。

平成30年度予算審議



民生費: 社会福祉、児童福祉、生活保護

衛生費: 保健衛生、清掃、環境対策、病院

商工費: 商工振興、観光

土木費: 土木管理、道路橋梁、河川、都市計画、住宅

教育費: 教育総務、幼稚園、小中学校、社会教育、保健体育

【平成30年度予算考察】

目的別事業費では高齢者福祉や、障がい者福祉など福祉に係る「民生費」の割合が全体の30%を占めておりますが、子育て支援事業の廃止により、1億3千万円を削減するなど、増加トレンドだった民生費を圧縮し、浜名湖西岸土地区画整理事業として、50ヘクタールの工業団地を造成する事業支援と、大倉戸茶屋松線整備事業を併せて9億2千万円を計上するなど、将来への種まきを行う年となります。

トピックス

高校生まで医療費無料化

子育て支援対策

2,000万円

昨年度、中学生まで無料化したこども医療費について、子育て支援を更に拡充するため、平成30年10月から高校生(相当年齢)まで無料化します。

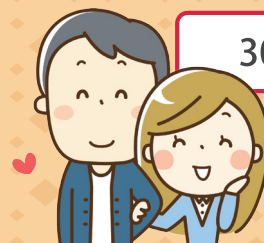


新婚さん「こさい」へおいでん

新生活応援事業

300万円

若い世代の湖西市への移住を促進させていくために、婚姻を機に市外から転入する世帯に対し、10万円を助成します。



日ヶ崎地区津波避難タワー建設

津波避難施設整備事業

1億8,700万円

津波避難施設空白域となっている日ヶ崎地区への津波避難施設を推進します。



デマンド型乗合タクシー実証実験

地域公共交通対策事業

254万円

利用しやすい公共交通方式を導入するため、白須賀地区において通院や買い物などの利便性向上を図るために、デマンド型乗合タクシーの実証実験を行います。

※デマンド型乗合タクシーとは
ドア・ツー・ドアの送迎を行うタクシーに準じた利便性と、乗合・低料金というバスに準じた特徴を兼ね備えた移動サービス



ごみ焼却場の再稼働

ごみ処理施設管理運営事業

2,221万円

ごみ焼却施設再稼働に向けて、環境センターの施設長寿命化とPFI導入について調査を行います。

※PFIとは
公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。



一般質問

1. 地域防災計画の実証性について

東日本大震災から7年、熊本地震から2年が経過しようとしています。南海トラフ地震については、今後30年間の発生確率が70～80%へと引き上げられました。静岡県では「避難所の運営マニュアル」を10年ぶりに見直すとの報道が有り、湖西市指定避難所マニュアルでは避難所の運営は自主防災会が主導で行う事となっていますが、開設については、施設管理者が安全を確保して受け入れるとされています。受け入れ態勢を含めて実証性を確認し、市民の安心安全を確保することを、目的として行政執行部の考えを伺いました。



Q 市指定避難所の鍵の管理は誰がどこで行うのか。

A 学校施設管理者が教育委員会で管理している。

Q 避難所の収容人数が地域防災計画と学校が持つ避難所利用計画の収容人数と乖離があるがなぜか。

A 地域防災計画は県の指針により総床面積から積算、学校ではBCPを踏まえ使用可能な教室の床面積から算出している。



平成30年3月末より静岡県から「避難所運営マニュアル」が展開されることから、実情に沿った「避難所別運営マニュアル」を自主防災組織と施設管理者を交え、実証性を確認しながら策定する様に提案しました。

2. 公共施設再配置計画について

平成29年3月に湖西市公共施設再配置基本計画が策定され、市内中学校区で市民説明会を経て、個別計画(案)が発表されましたが、縮減計画面積は基本計画の20%に対し、10.7%と目標に達していませんでした。これが、今後の市民生活にどのような影響が生じるのか、今後の方策について行政執行部の考えを伺いました。



Q 個別計画での縮減計画が積み上がらなかった主な要因は何か。

A 小中学校の教育施設をはじめ、保育園、幼稚園などの子育て支援施設に於いて、引き続き丁寧な説明が必要と判断したため、1次計画(5年)への計上を見送った。

Q 湖西市の投資的経費が毎年縮小している中で、施設の維持、更新費用の確保は出来るのか。

A 交付金等特定財源をはじめ、PFIなど民間の手法も活用し資金の確保に努める。



公共施設再配置個別計画において、北部の知波田小学校、東小学校との統合や、幼稚園の統廃合への計画に対し、地元への理解活動が不足していた。との見解ですが、学校や幼稚園に通う子供たちにとって最適な環境とはどのような状態なのか、地域との話し合いが必要で、将来のまちの姿を共有するために、若い世代の保護者や、学生との意見交換が必要と認識しました。

地域で困ったこと、市政へのご意見やご要望など、お気軽にご相談ください。
湖西市以外の地区においても仲間議員と連携して対応します。



くすのき浩幸

検索



くすのき浩幸ホームページ
QRコードはこちら

「くすのき浩幸のくらしの相談室」連絡先 デンソー労働組合内

☎ 053(577)0980 (内線4000又は4001) ✉ kusunoki@asmo-union.com

FAX 053(577)2425

HP <http://kusunoki-h.com>